

環境配慮全般事例-No.56

商品名 : カートカン飲料 ('ポッカ コーヒー」「純茶」「キレートレモン」他)	会社名 : (株)ポッカコーポレーション
<該当事項>	<事例説明> カートカンは、アルミを一切使わず、主に紙素材でできているためリサイクルに向いていて、ゴミの減量に役立っています。当社のカートカン商品数は業界最多。環境にやさしいカートカンを通じて、社会に貢献します。
再生可能資源化	

環境配慮全般事例-No.57

商品名 : 「アクアソリタ®」	会社名 : 味の素(株)
<該当事項>	<事例説明> ・金属缶ではなく森林間伐材を使用した紙容器を採用。 ・金属缶や瓶入り飲料と比較して容器重量が軽くなり、トラック 輸送時のCO2発生量も削減可能。
再生可能資源化	

環境配慮全般事例-No.58

商品名 :「フラン」	会社名 :明治製菓(株)
<該当事項>	<事例説明> フランの箱にPEFCの森林認証紙(フィンランド製)を使用した。
森林認証紙	

環境配慮全般事例-No.59

商品名 :「ジルスチュアートブライトニング アイクリーム」他	会社名 :(株)コーセー
<該当事項>	<事例説明> ケナフ紙(1年草のケナフを原料とする紙)を配合した紙を使用した1個箱。
ケナフ紙	

環境配慮全般事例-No.60

商品名 :「エルフェ・オーガニックシリーズ 5品」	会社名 : (株)伊勢半 推薦会員 : 日本化粧品工業連合会
<該当事項>	<事例説明> 平成18年度の製品リニューアル時に、包材を見直して1個箱にケナフ紙を採用と致しました。斤量も通常の1個箱に使用している物よりゲージダウンしている為、結果的に軽量化(リデュース)へも繋がっている。 ケナフは非木材で更にCO2を吸収する為地球温暖化の防止にも繋がり、環境配慮の観点から期待されている素材です。
ケナフ紙	



環境配慮全般事例-No.61

商品名 :「松茸昆布」	会社名 : 合名会社 神宗 推薦会員 : 凸版印刷(株)
<該当事項>	<事例説明>
再生紙使用	牛乳パックや酒パック等の飲料パックの再生紙を内箱に採用した。

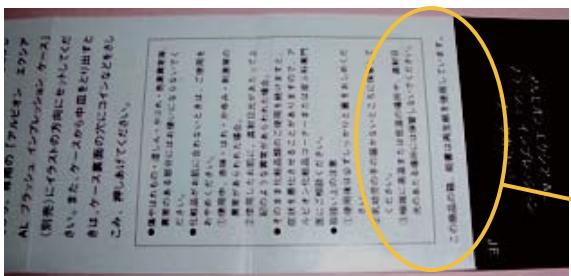


環境配慮全般事例-No.62

商品名 :「リサージローション」	会社名 :(株)カネボウ化粧品
<該当事項>	<事例説明> 上六印刷開発のUボードの採用。 紙の1個箱を作るときに発生する端紙の不良品を集めて混ぜ、再度板紙にしたもの。牛乳パックも一定割合で混合。従来はリサイクルできなかった蒸着紙、アルミ蒸着紙も使用している。
再生紙使用	

環境配慮全般事例-No.63

商品名 :「アルビオン商品全品」	会社名 :(株)アルビオン 推薦会員 :日本化粧品工業連合会
<該当事項>	<事例説明> 1個箱、能書には総べて再生紙(100%再生紙ではない)を利用。



能書

再生紙使用の表示

この商品の箱、能書は再生紙を使用しています。

環境配慮全般事例-No.64

商品名 :「Myスマートレジ袋」	会社名 :日本百貨店協会
<該当事項>	<p><事例説明></p> <p>日本百貨店協会では、業界統一のマイバック「Myスマートレジ袋」を製作・販売し、容器包装削減に向け、業界挙げて取り組むこととした。この取り組みにより、これまで実施してきた、①スマートラッピングによる「包装紙の削減」、②百貨店各社のマイバックによる「紙袋の削減」、それに加え、③百貨店業界統一のMyスマートレジ袋の製作で「レジ袋の削減」を図る。</p>
レジ袋削減	 <p>Myスマートレジ袋は、完全循環型リサイクル素材を使用し、石油から作られたものと全く同一品質で、重い荷物にも耐えられ繰り返し使用できる。</p> <p>また、使用後には当協会で回収し、新しいポリエチレン繊維にリサイクルされる。石油からポリエチレン原料を作る場合と比べエネルギー消費量と二酸化炭素排出量ともに約80%を削減。</p> <p>また、お客様が週1回このバックを使用することで、約40億枚のレジ袋を削減できる。</p>

日本百貨店協会「Myスマートレジ袋」

リサイクル事例-No.65

商品名 :「テトラ・ブリック・アセプティック容器」	会社名 :日本テトラパック(株)
<該当事項>	<p><事例説明></p> <p>自社製品であるアルミ付飲料用紙容器の環境に与える負荷を定量的データとして捉え、社会に容器のLCA情報を公開するため、(社)産業環境管理協会が運営するエコリーフ環境ラベルプログラムに参加。</p>
環境ラベル	<p>生活者に身近な食品容器包装としてはテトラパック社が初めての公開。</p> <p>2007年度現在では、12種の製品がこのプログラムにより情報公開している。</p>

『エコリーフラベルとは』

エコリーフラベルとは、ISO(国際標準化機構)でタイプIIIに分類される環境ラベルです。エコプロダクト普及促進に役立てる事を目的とし、(社)産業環境管理協会が認証母体となり実用化されています。このラベルは、製品が生み出されてから廃棄されるまでの一生の間に環境に与えるすべての影響をLCA手法により分析し、優劣判定を伴わない定量的データとして開示されるものです。

下記ページが、飲料用紙容器のエコリーフラベル登録済み製品一覧です。

http://www.jemai.or.jp/ecoleaf/prodbygrp_BD.cfm

対象となる容器の登録番号をクリックすると右写真のように情報が公開されています。

